

多職種の緊密な連携による 呼吸ケアの実践



在宅酸素療法サポートチームメンバー



呼吸器内科 出雲 雄大部長

① 病院紹介

当センターは、1886年に設立された博愛社病院（翌年、日本赤十字社病院と改称）を母体とし、1891年に現在の東京都渋谷区広尾に移転、1941年に日本赤十字社中央病院と改称しました。1972年には、1922年開設の日本赤十字社産院を統合して日本赤十字社医療センターとなり、2010年に現在の新病院を落成して今日に至ります。当センターは33の診療科をそろえ、渋谷区を中心とする二次医療圏区西南部の中核病院として機能しています。病床数は708床であり、PET-CTやサイバーナイフなどの最新の医療機器も整備しています。都内の患者さんはもとより海外か

らの患者さんも多く、国際色豊かな病院であり、病院専属の通訳も常駐しています。

● 当院（チーム）の特色

呼吸器内科では、慢性呼吸器疾患の患者さんに対して、外来・入院診療はもとより、COPD教育リハビリテーション入院や在宅酸素療法導入のための入院診療も行っています。HOT導入入院はクリティカルパスを使用することで、よりスムーズに多職種連携による導入が行えます。また、多職種による在宅酸素療法サポートチームを形成しています。これは医師や看護師だけでなく、リハビリテーションスタッフ、栄養士、薬剤師、事務などがチームとなり、在宅酸素の患者さんを支えています。

また、在宅酸素療法だけではなく在宅非侵襲的陽圧換気（NPPV）療法も積極的に導入しています。NPPV療法はマスクを用いて人工呼吸を行う治療法であり、専用の機器を用いて換気を補助することで体の中の高炭酸ガス血症を改善する方



呼吸の教室風景



看護専門外来

慢性呼吸器疾患の患者さんに対して、慢性呼吸器疾患看護認定看護師を中心とした在宅酸素療法看護専門外来を開設しています。医師との診療だけではなかなか話にくいことや日々の体調管理のことなどを患者さんと一緒に相談しながら日常生活の支援を行っています。在宅酸素療法サポートチームとして、家族や社会の一員としての役割を担いながら充実した生活が送れるように、患者さん一人一人に合わせた支援、指導を行

法です。慢性呼吸器疾患の患者さんは換気が弱くなっていることがあり、特に夜間の就寝中に炭酸ガスが体内にたまってしまふことがあります。炭酸ガスがたまると意識レベルが悪化したリ、頭痛がおこったりするなどの症状が出るため、在宅酸素療法だけではなくNPPV療法もチームとして積極的に導入のサポートをしています。

②「呼吸ケア」私たちの取組み

●看護専門外来

える包括的な呼吸リハビリテーションを提供していきたいと考えています。

●呼吸の教室

慢性呼吸器疾患の患者さんに対して年に3回当院にて「呼吸の教室」を開催しています。医師、外来・病棟看護師、薬剤師、理学療法士、運動療法士を中心在宅酸素療法を行っている患者さんと家族に対して、講義や吸入の実際、呼吸体操などを通して療養生活の向上を支援しています。

③患者様へのメッセージ

当院は「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、治療のみならず健康づくりからより健やかな生涯生活の維持まで、トータルでの支援サービスを提供しています。また、2017年4月から本間之夫院長の就任に伴い、高い専門性を自覚し職務に専念する(Concentration)、部門を越えて互いに尊重し協力する(Collaboration)、職務円滑化のため規則を順



病院外観

Hospital Data

- ▶住所 東京都渋谷区広尾4-1-22
- ▶電話番号 03-3400-1311
- ▶FAX番号 03-3409-1604
- ▶ホームページ <http://www.med.jrc.or.jp/>

守する(Compliance)、未来に目標を置いて達成に励む(Completion)の4つの「C」に代表される「人智・人道のある統合的な医療の提供」を運営理念としています。在宅酸素療法サポートチームとして患者さんに寄り添った医療をこれからも提供していきたいと考えています。

「呼吸の教室」 開催します！

日時：平成29年6月28日(水)10:30~11:30
 場所：当院3階 講堂
 内容：「暮らしのなかの呼吸を知らそう！」
 対象：呼吸に関心のある方 누구나！
 *1回1時間の患者様は、十分な聴取を確保し、準備ください。
 連絡先：03-3400-1311(代電) 外来部内 看護
 (お問い合わせは平日9時~17時の間にお願いします。)

呼吸の教室案内